

広域的視点からみた生活関連サービスの供給 (その 1)

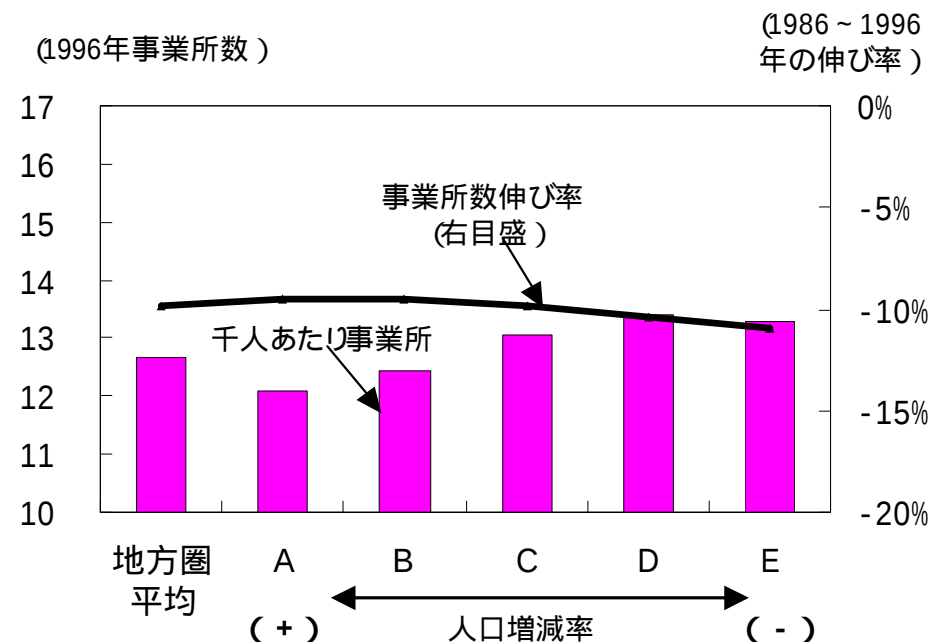
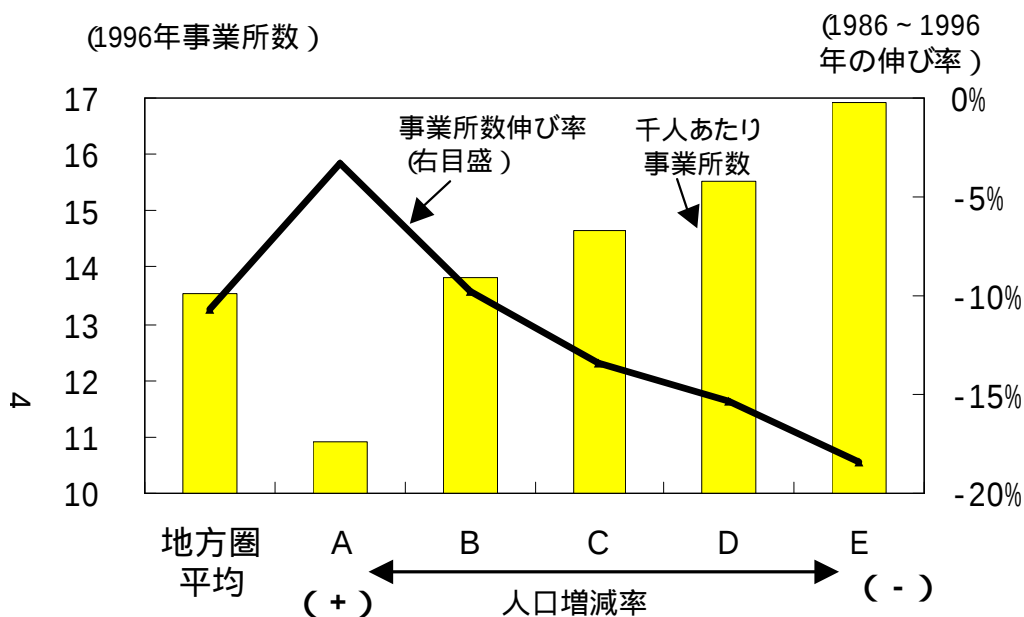
参考資料 3

広域的にみれば、地域格差は小さい

小売業

市町村単位

1 時間圏単位



(出典) 総務省「事業所・企業統計」「国勢調査」に基づき国土交通省国土計画局作成。

(注) 1. A～Eは、全国の市区町村を1985年～1995年の人口増減率で五分位に分けたもの。

A: 人口増減率 7.0%以上 (95年平均人口: 74千人)

B: 人口増減率 -0.7%以上 7.0%未満 (95年平均人口: 58千人)

C: 人口増減率 -5.5%以上 -0.7%未満 (95年平均人口: 36千人)

D: 人口増減率 -10.5%以上 -5.5%未満 (95年平均人口: 16千人)

E: 人口増減率 -10.5%未満 (95年平均人口: 9千人)

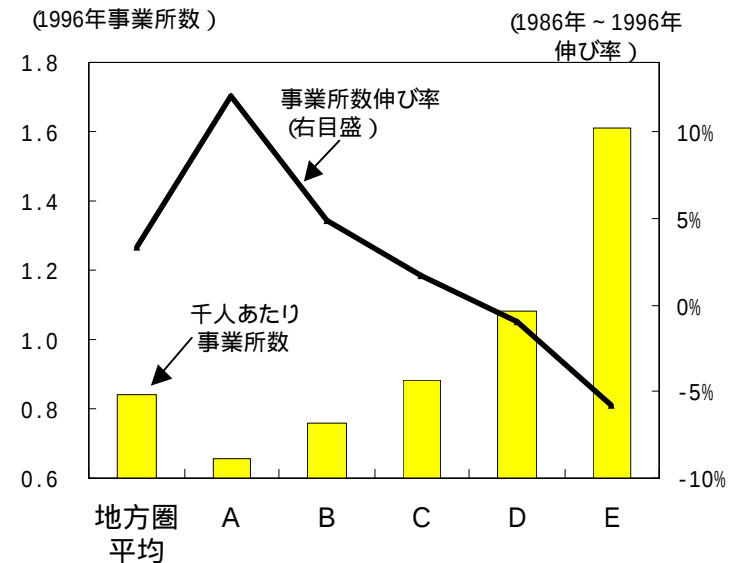
2. 1986年の事業所数に対し1985年の人口、1996年の事業所数に対し1995年の人口を用いた。

3. 地方圏とは、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、岐阜県、愛知県、三重県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県以外の36県を指す。

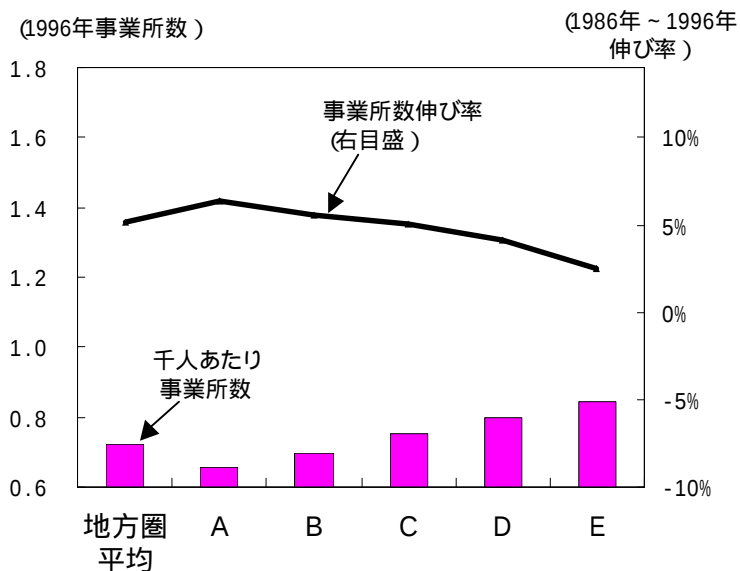
4. 「1時間圏」は、1998年10月現在の交通ネットワークで新幹線と特急を除く鉄道と道路の利用を前提とした。

教育（学校、幼稚園、公民館、図書館、博物館、美術館等）

市町村単位

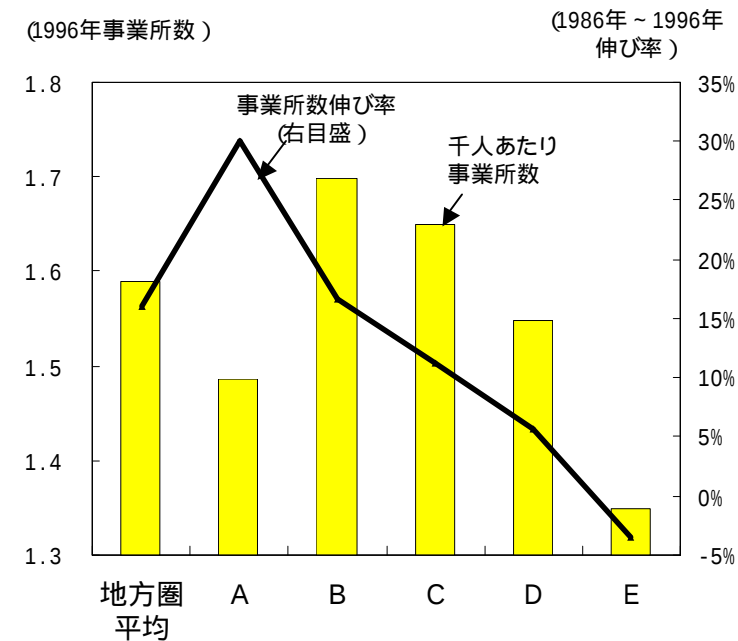


1時間圏単位

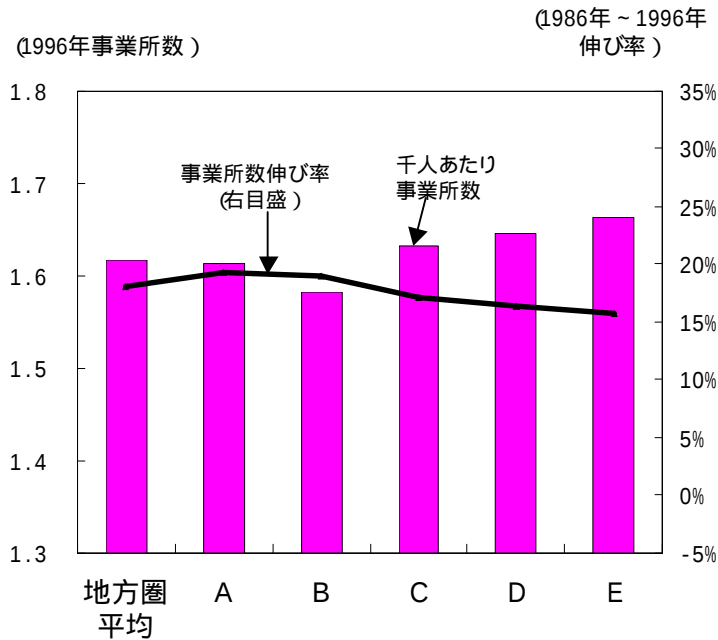


医療業（病院、診療所）

市町村単位



1時間圏単位

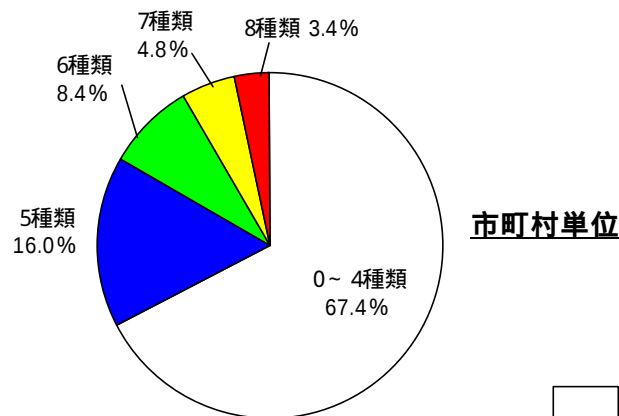


広域的視点からみた生活関連サービスの供給 (その2)

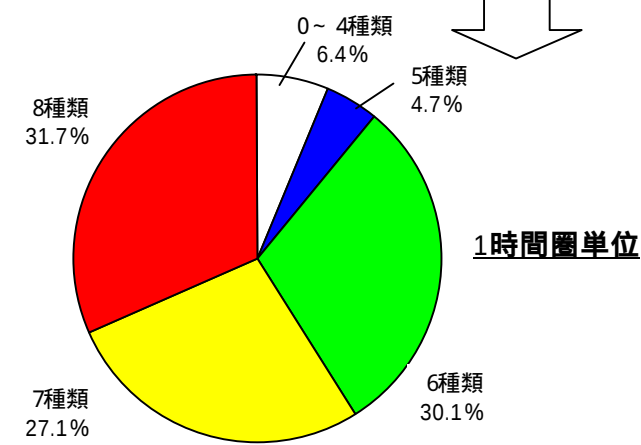
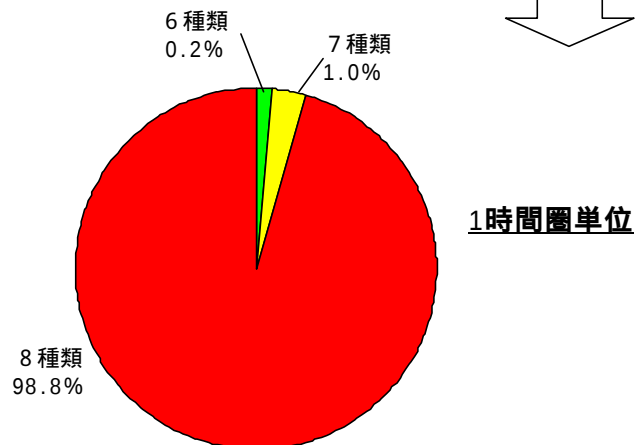
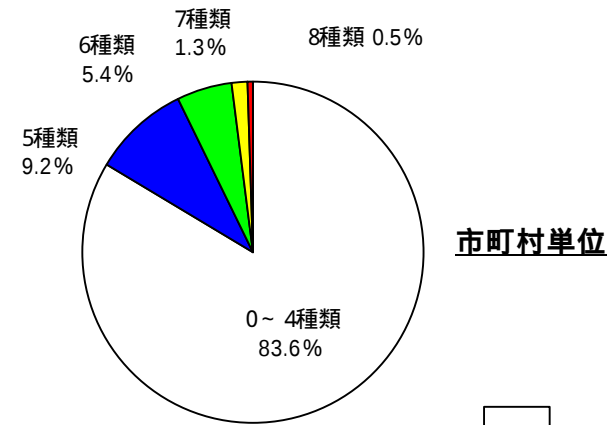
社会教育施設のうち、何種類の施設があるか
(2000年)

広域的にみれば、より「多様な」
サービスの享受が可能

【中核・中核都市の1時間圏内に位置する市町村】



【中核・中核都市の1時間圏外に位置する市町村】



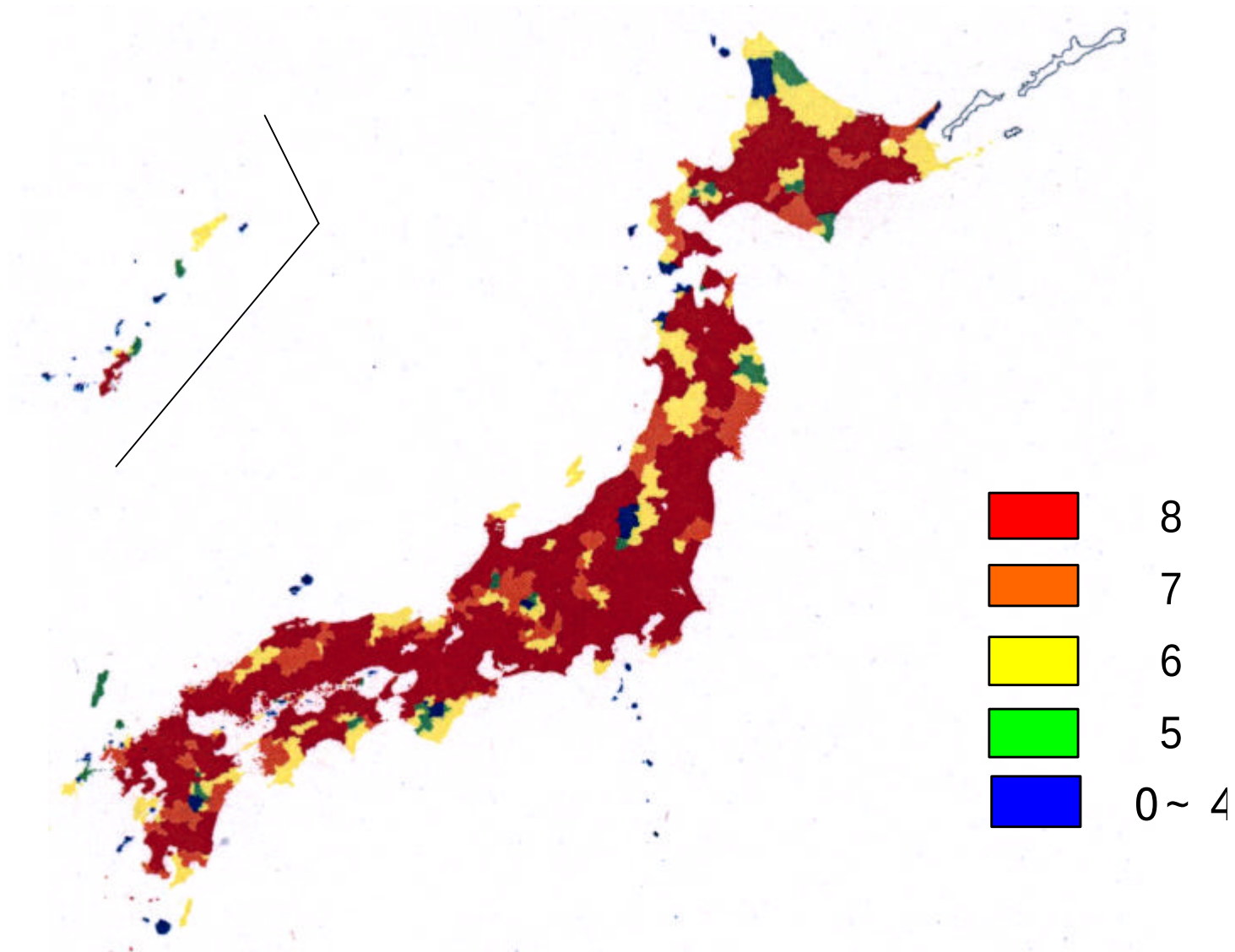
ただし、中核・中核都市からの遠隔地では、
十分なサービスを享受できない地域も

(出典) 文部科学省「社会教育調査報告(2000)」、国土交通省総合交通体系データシステム (NAVINET) をもとに国土交通省国土計画局作成。

(注) 1. ここで「社会教育施設」とは、公民館、図書館、博物館、博物館類似施設、青少年教育施設、婦人教育施設、社会体育施設、民間体育施設、文化会館、カルチャーセンターの8種類の施設をいう。

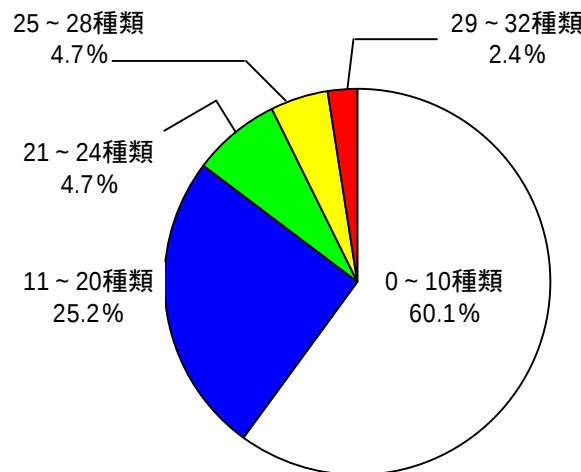
2. ここでの「施設の種類の数」とは、上記8種類の施設のうち、市町村内あるいは1時間圏内に何種類が存在しているかを捉えたもの。

1時間圏単位での社会教育施設の種類の数
(2000年)



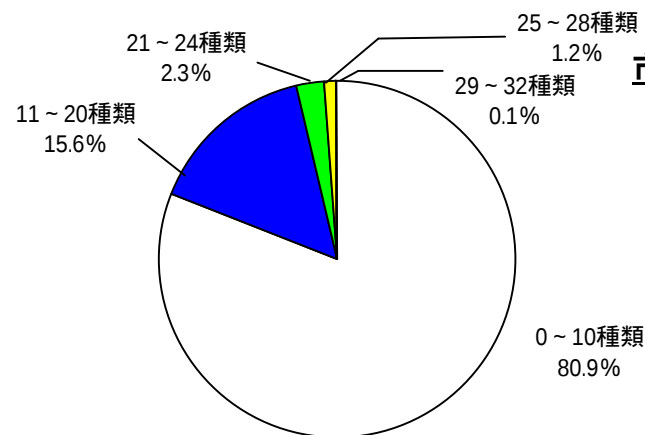
病院の診療科目のうち、何種類があるか（1998年）

【中核・中核都市の1時間圏内に位置する市町村】

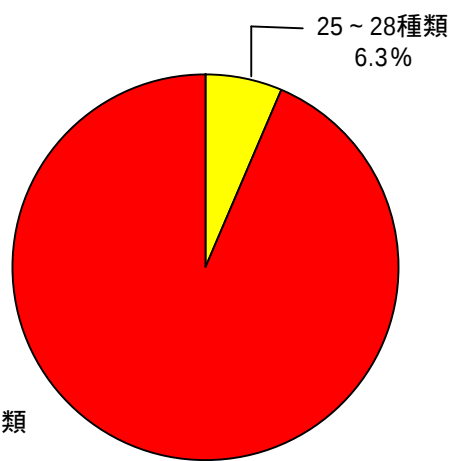


市町村単位

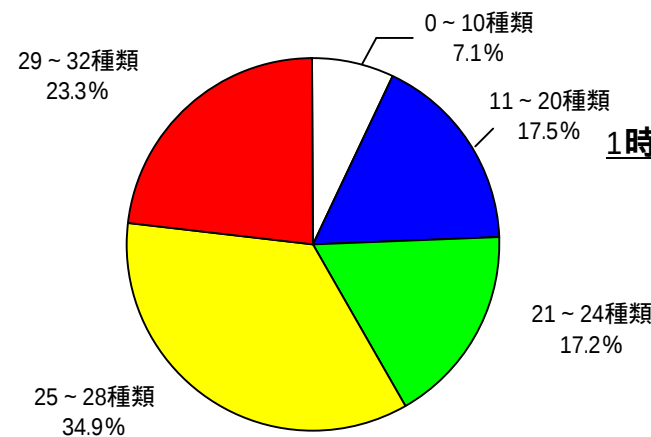
【中核・中核都市の1時間圏外に位置する市町村】



市町村単位



1時間圏単位



1時間圏単位

（出典）厚生労働省「医療施設調査(1998)」、国土交通省総合交通体系データシステム（NAVINET）をもとに国土交通省国土計画局作成。

（注）１．「病院の診療科目」とは、内科、外科等を意味し、全部で32種類（歯科関係を除く）ある。

２．ここでの「施設の種類の数」とは、上記32種類の診療科目のうち、市町村内あるいは1時間圏内に何種類が存在しているかを捉えたもの。

1時間圏単位の診療科目の種類数 (1998年)

